



RESEARCH SOLUTIONS
REPRINTS DESK

知識へのシームレスな アクセスを実現し 科学的発見をスピードアップ

課題

RS: ベーリンガーインゲルハイムの科学情報センターについて教えてください。この組織の役割は何ですか？

BI: 科学情報センターは創薬研究部門に所属しており、主な役割として、出版論文や雑誌に掲載されている科学情報へのシームレスなアクセスを提供する責任があります。これまでは145のグローバルオペレーションユニット（OPU）がそれぞれ自由に研究費を管理することができました。しかし弊社の図書館では無駄のない集中的なアクセスを実現し、また著作権に準拠したドキュメント配信サービスを搭載しており、グローバルな規模でのコスト削減を可能にするプラットフォームを思い描いております。そういったものを全てのOPUに提供することを目指しています。

RS: 再編成以前、ドキュメント配信における苦労はどのような事がありましたか？

BI: それぞれのOPUがそれぞれの方法で文献調達をしていました。そして企業図書館の中にドキュメント配信をするプロバイダーもいました。しかしながら、サービス・価格・コンテンツへのアクセスの質などは私たちが期待したものではありませんでした。失望することも沢山ありました。

RS: 特定分野で科学文献の消費に大きな課題があったとお聞きしました。どういったことでしたか？

BI: BIの為に働いてくれている方は社員だけではなく、BIでは社外の方々合わせて毎月数千本の文献を注文しています。社外の方々には主に医薬物有害事象を処理するためのファーマコビジランス（PV）に関心を持っています。そして彼らの利用内容が全体の利用傾向に大きく影響しています。

興味深いことに、以前よりもはるかに少ないBI化合物をスクリーニングしているにもかかわらず、ファーマコビジランス(PV)の利用は増加しています。というのも、より多くの著者がより多くの化合物に関して書いているからです。ジェネリック化合物や特許外化合物は市場に出なくなっても消えることはないの、着実に利用数は増えています。

製薬業界におけるケーススタディ



Boehringer
Ingelheim

会社概要：

ベーリンガーインゲルハイム (BI) は、130年の歴史を持つ180億ドル・5万人の従業員を擁する企業で、製薬業界のトップ20企業の一つです。その特徴は、3つの事業エリア(ヒト用医薬品・動物用医薬品・バイオ医薬品受託製造)に渡ったイノベーション主導型文化にあります。ベーリンガーは収益の20%をR&D運営に投資しています。詳細はこちらから：
www.boehringer-ingelheim.com

科学情報センター：

ベーリンガーの研究エンジンの中心として、Karlheinz Spenny氏とKatrin Clemens氏が管理している科学情報管理の中枢。両氏にResearch Solutions社のArticle Galaxy Research Platformが8,000もの知識労働者達へ科学コンテンツの安定した供給をすることによって、どのように彼らの研究・規制活動を前進させているかお話を伺いました。



一部の国では、文献のスクリーニングの義務が残っています。薬局で購入できなくなった場合でもまれに患者さんがアクセスできる場合もあるからです。雑誌や書籍の数も継続的に増加しており、そこには薬の副作用に関する新しいタイトルも含まれています。その結果、PVを目的とした利用は消費される記事の半分以上を占めています。そしてその半分は成長しています。

解決方法

RS: 新しい文献ソリューションプロバイダーの選定はどのように進められましたか？

BI: 業界内・協会内で話を聞くうちに、このマーケットには選択肢がいくつかあることを知りました。その後提案をいくつか募集し、提案を検討していく中でResearch Solutions社がひときわ目立っていました。ソリューション、サービス、柔軟性、顧客志向は以前に見たものや経験したものよりもはるかに優れていました。Research Solutions社を選んだことは、完全に正しい決断でした。

RS: 決断するにあたり、他にも考慮した点はありましたか？

BI: 多くの重要な検討事項がありました。例えば、コストを削減することや、文献を重複して注文するのを避けることで、よりコンプライアンスを高めたいと考えていました。Research Solutions社のソリューションには文書や論文を調達する前に、保有文献と購読文献のダブルチェック、オープンアクセスの有無のチェックを行うフィルターが含まれています。当社ではドキュメントの配信よりもサブスクリプションに多くの費用を費やしていますが、フィルターを使用することでこれらの投資から最大限の利益を得ることができます。

RS: このソリューションの生産性と全体的なパフォーマンスにはどういった特徴がありますか？

BI: Research Solutions社の分析は、私たちが購読の基準について検証する際本来の利用に基づいた計算をする際にとっても役立ちます。それがたとえオンデマンドアクセスよりも購読の方が良いという場合でも同様です。そしてこの検証は毎年ジャーナルタイトルごとに行われます。私たちがオーダーする文献では、デリバリーもすぐに届くので私たちの研究者たちにとって、大変な時間の節約にもなります。コスト・文献数・オーダーからデリバリーまでのプロセスにかかる時間などを測ってはいませんが、研究者たちからの苦情がないので、私たちのユーザーにとって早く顧客フレンドリーなプロセスを提供できているという事が分かります。

“文献をオーダーすると、ほぼ一瞬で納品されます。これは私たちの研究者にとって大きな時間の節約になります。”

Karlheinz Spenny,
科学情報センター、
ペーリガーインゲ
ルハイム



お問い合わせ:

Email: japan@reprintsdesk.com

Web: www.reprintsdesk.com



率直に言って、今の時点では、投資は正当化されていると言えます。文献あたりのコストは以前よりもはるかに低くなっています。調達量が増えれば増えるほど、その重要性は増していきます。

RS: どのように会社全体にArticle Galaxyを展開されましたか？

BI: Research Solutions社の経営陣と、どのように自動アラートを設定するかについて何度もミーティングを行いました。私たちのOPUは膨大な量の文献を消費するので、これだけでも素晴らしいことです。

自動処理の設定やまとまった文献のアップロード・ダウンロードなどに少し時間を費やしました。そしてそれを展開した時には、とてもシームレスに機能しました。私たちはそれを一晩で終わらせ、問題が発生したという事は聞いていません。とても簡単に設定できました。

RS: 切り替えの際のユーザーエクスペリエンスについて教えてください。

BI: ユーザーエクスペリエンス、つまりワークフロー自体は変わりませんでした。彼らはプロバイダーを変更したことに気づきませんでした。このシステムを機能させる全てのものは、舞台裏にあります。私たちの科学者が見るものではありません。文献検索の際には、彼らの好むデータベース、PubMed, SCOPUS, Google Scholarやその他を今でも使っています。Article Galaxyは、私たちが取得しているジャーナル、文献デリバリーのReprints Desk、または直接ジャーナルをオーダーするフォームへ自動的に導きます。早くてシンプルです。彼らがこの方法を利用できないと、最後には行き詰まりフルテキストにアクセスできなくなります。さらには、このおかげでコンプライアンスも確保できています。

結論：

RS: 最後にResearch Solutions社製品の貴方の経験についてお聞かせください。

BI: 一言で要約できます。信頼です。プロセスの信頼・約束の信頼・問題解決の信頼・柔軟性の信頼、それを全てResearch Solutions社が証明しました。特にPVの側面です。また顧客に対する敬意を示していることです。会社の経営陣が顧客のところへ来て、ソリューションや問題解決方法について話し合うというのは普通ではありません。皆さんとても親切で、柔軟性があり、実用的で、知識も豊富でした。Research Solutions社が私たちの優先パートナーの一つであることは間違いありません。



Research Solutions, Inc. (NASDAQ: RSSS)は科学研究へのシームレスなアクセスを提供するバイオニアです。完全子会社であるReprints Desk, Inc.は、機関や各研究者が学術ジャーナルの文献、書籍のチャプターや他の科学・技術・医学 (STM) に属するコンテンツを発見、取得、管理するのをシンプルにします。トップ製薬企業の70%、名門大学、新興ビジネスが、最新の科学研究やデータにシンプルに、かつ最低のコストでアクセスするためReprints Deskが提供するクラウドベースのSaaS研究プラットフォームであるArticle Galaxyを頼りにしています。アプリのようなGadgetによるひとりひとりの研究エクスペリエンスを通じ、Article Galaxyはエンタープライズのみならず個人にも、比類なき24/7のユーザーサポートとともに提供されています。

お問い合わせ:

Email: japan@reprintsdesk.com

Web: www.reprintsdesk.com